

MS103D

取扱説明書 【保証書付】

もくじ

安全にご使用いただくために	1
1. ご使用の前に	5
特長	5
標準付属品	5
Windows 95/98/2000/Me/XPをお使いの方へ	5
各部のなまえ	6
コンピュータとの接続	7
2. 操作手順	8
調整メニューの内容	9
パワーマネジメント機能	13
3. 故障かなと思ったら	14
4. クリーニング	16
5. アフターサービス	17
保証書/保証期間について	17
修理サービス	17
オプション部品	17
リサイクル/廃棄について	17
6. 付録	18
一般仕様	18
プリセットモード	19
信号入力コネクタのピン配列	19



重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

漏洩電流自主規制

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

ENERGY STAR®


当社はENERGY STAR®プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

国外での使用禁止

本製品は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用できません。

This monitor is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

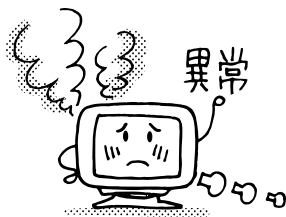
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店またはイヤマサポートセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！	
	<p>ご使用の際 このようなことは ありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。●キャビネットが異常に熱い。●煙が出たり、こげくさい臭いがする。●使用中に異常な音や振動などがある。●その他の異常や故障がある。
⇒	<p>ご使用を中止してください</p> <p>故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤマサポートセンターにご相談ください。</p>

安全にご使用いただくために

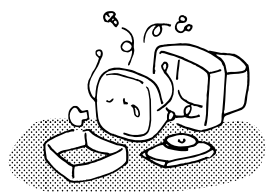
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

警告



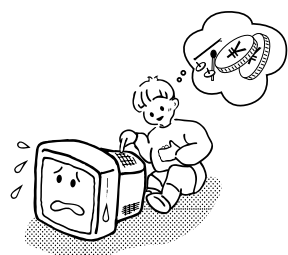
万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店またはイヤマサポートセンターにご依頼ください。



異物を入れない

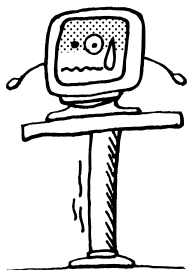
モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。



花びんやコップをモニタの上に置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの上に置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。

警告



禁止

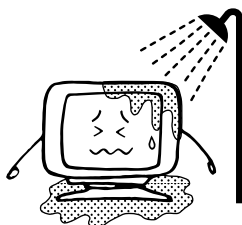
不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを
抜く

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

交流100Vの電源電圧でお使いください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

付属の電源コードを使用する

これ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサポートセンターに交換をご依頼ください。

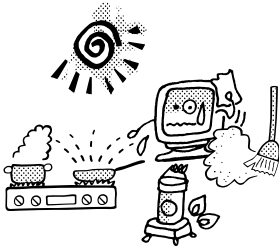


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠️ 注意

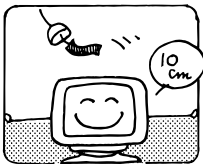


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く
- × 温度変化の激しい場所



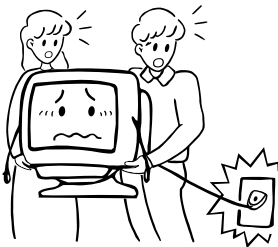
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニターは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

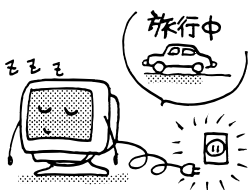
また、モニターは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。



禁止

モニターの上に重いものをのせない、乗らない

バランスがくずれて倒れたり、落ちたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠️ 注意



プラグを持って抜く

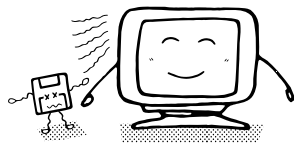
電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

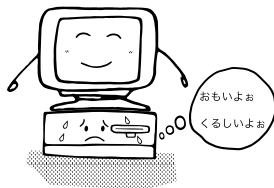
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

モニタの近くにフロッピーディスクを置かない

モニタは一時的に強い磁気が発生するため、フロッピーディスクなど磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

磁気の影響

磁石を近づけたり、テレビやスピーカーなど磁気が発生させるものの近くに設置しないでください。色が乱れたり、画面揺れやノイズが出る原因となることがあります。

1. ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ Windows®やMacintoshに適したシャープな画面
- ◆ 最大解像度1920×1440をサポート
- ◆ 1600×1200時、最大リフレッシュレート85Hzをサポート
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応
Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ sRGB国際規格をサポート
- ◆ 低電磁波・省電力設計
MPRⅢ適合
パワーマネージメント機能搭載
- ◆ 場所をとらないコンパクト設計

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード
- 信号ケーブルMB30 (D-SUB接続用)
- 取扱説明書/保証書 (本書)

Windows 95/98/2000/Me/XPをお使いの方へ

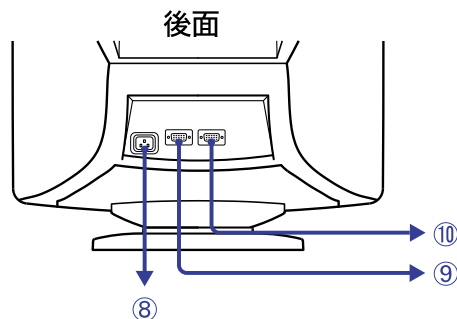
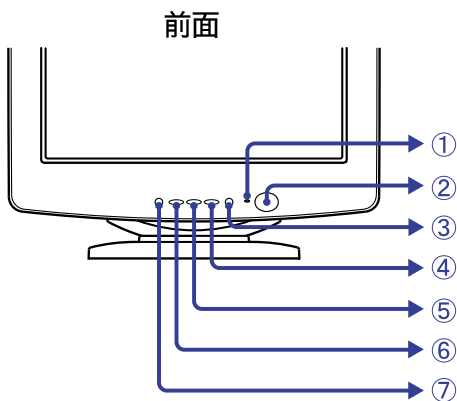
本製品のモニタインフォメーションファイルは、弊社ホームページにてダウンロードサービスを行っておりますのでご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

- ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
- MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

各部のなまえ



- ① 電源インジケータ
- ② 電源スイッチ
- ③ OPQボタン (OPQ) =Optimize Picture Quality
OPQ機能のON/OFFを切り替えます。ONにすると、DVDなど動画ソフトの再生時にコントラストのはっきりした画面にすることができます。

[オンスクリーン表示] OPQ ON:

OPQ OFF:

補足 本機能の設定は記憶されません。電源を「OFF」するとOPQ機能もOFFになります。また、OPQ機能をONにすると、色温度は9300Kに固定され調整できなくなります。

- ④ プラスボタン
- ⑤ マイナスボタン
- ⑥ メニューボタン
- ⑦ 入力信号切替ボタン (VIDEO 1/2)
VIDEO IN 1と2同時に信号が入力されている時、信号入力コネクタの選択を行います。ボタンを2~3秒押し続けると、VIDEO IN 1と2が切り替わります。

補足 どちらか一方のコネクタに信号が入力されている場合は、電源を「ON」する時のみ入力信号を自動的に選択します。

- ⑧ 電源コード接続コネクタ (AC IN)
- ⑨ D-SUBミニ15ピンコネクタ (VIDEO IN 1)
- ⑩ D-SUBミニ15ピンコネクタ (VIDEO IN 2)

コンピュータとの接続

⚠ 注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.19「信号入力コネクタのピン配列」参照)
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
- ③ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。

ケーブル、アダプタ等の品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニター側
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15ピン	信号ケーブル MB30 (付属品)		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98*1		変換アダプタ PC98 パーツNo.242Z020-01	信号ケーブル MB30 (付属品)	
NEC PC98*1	D-SUB 15ピン	変換アダプタ MAC *3 パーツNo.T985V003-30	信号ケーブル MB30 (付属品)	
Macintosh*2	D-SUB 15ピン			

補足 *1 PC98シリーズでは水平周波数24.8kHz(640×400)は表示できません。ただしPC9821MATE以降のシリーズは、水平周波数を切り替えることができます。コンピュータ電源投入時に“GRPH” + “2” キーを押し、水平周波数31.5kHz(640×400)でご使用ください。水平周波数を24.8kHzに戻す場合は、コンピュータ電源投入時に“GRPH” + “1” キーを押ししてください。この機能がないコンピュータもありますので、前もってコンピュータの説明書をご確認ください。


*2 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

*3 Power MacintoshなどのDPI-on-the-fly機能に対応したコンピュータの他、従来のMacintoshでも各種の解像度に切り替えることができます。


2. 操作手順

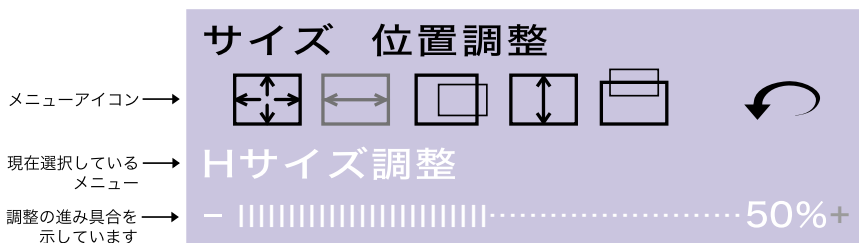
P.19の「プリセットモード」の信号タイミングに合わせ、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、お好みの画面状態に調整し直したいときは、次の手順に従って操作を行ってください。

メインメニューで項目を選択し、サブメニューで調整や設定を行っていきます。

- ① メニューボタンを押すと、画面にメインメニューが表示されます。
- ② 例えば、水平サイズを調整したいとき、メインメニューで  (サイズ 位置調整) をプラス/マイナスポタンで選択し、メニューボタンを押すとサブメニューが表示されます。




















- ③ サブメニューで  (Hサイズ調整) をプラス/マイナスポタンで選択し、メニューボタンを押すと、調整バーが白色に変わります。プラス/マイナスポタンでお好みの画面に調整してください。詳しくは、次ページ「調整メニューの内容」をご覧ください。



- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、設定した任意の時間でオンスクリーン表示が消えます。(P.11「OSDオフタイマー設定」参照)
 - 画面サイズ、位置、ピン歪、台形歪の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。したがって色、台形バランス、コンバージェンス、モアレ調整などの調整を行うと、全ての信号タイミングに対して調整内容が変更されます。

調整メニューの内容

メインメニュー	サブメニュー	画面の症状/調整ボタン
 明るさ 色温度 調整	 コントラスト ダイレクト調整	弱すぎる   強すぎる  
	 ブライツネス ダイレクト調整	暗すぎる   明るすぎる  
	 色温度	赤みがかったホワイト   青みがかったホワイト  
<p>補足 ■ sRGB, 約10000K~4500Kまでの調整が可能です。初期設定は9300Kになっています。</p> <p>■ OPQ機能をONにすると、色温度は9300Kに固定され調整できなくなります。</p> <p>sRGB</p> <p>設定方法</p> <p>■ 色温度が10000Kの状態からさらにプラスボタンを押すと、sRGBモードに切り替わり、色温度が6500K付近になります。</p> <p>■ sRGBモードを解除するには、マイナスボタンを押します。</p> <p>補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現(色彩、彩度等)の違いを規定・統一した国際規格です。</p> <p>■ sRGBモードでは、コントラスト、ブライツネスが固定値となり調整できません。</p>		
 リターン		メインメニューに戻ります











































































ダイレクト調整






































メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- コントラスト：メニュー画面を表示していない時にプラス/マイナスボタンを押します。
- ブライツネス：メニュー画面を表示していない時にプラス/マイナスボタンを押してから、すぐにメニューボタンを押します。

補足 ■ コントラスト/ブライツネス調整の切り替え

- ダイレクト調整中、プラス/マイナスボタンを押してから約2秒以内にメニューボタンを押すことにより、コントラストとブライツネスの調整画面を交互に切り替えることができます。
- ダイレクト調整中は、OSDオフタイマー設定(P.11「OSDオフタイマー設定」参照)にかかわらず、ボタン操作を中止してから約3秒後にオンスクリーン表示が消えます。

メインメニュー	サブメニュー	画面の症状/調整ボタン
 サイズ 位置調整	 ズーム調整	 画面が小さすぎる    画面が大きすぎる  
	 Hサイズ調整	 小さすぎる    大きすぎる  
	 H位置調整	 左よっている    右よっている  
	 Vサイズ調整	 小さすぎる    大きすぎる  
	 V位置調整	 下よっている    上よっている  
	 リターン	メインメニューに戻ります
 画面歪調整	 ピン歪調整	 糸巻形状歪    タル形状歪  
	 台形歪調整	 台形状歪    台形状歪  
	 台形バランス調整	 平行四辺形状歪    平行四辺形状歪  
	 ピンバランス調整	 弓形状歪    弓形状歪  
	 傾き調整	 表示画面が傾いている    表示画面が傾いている  
	 リターン	メインメニューに戻ります

メインメニュー	サブメニュー	画面の症状/調整ボタン
画質調整	 Hコンバージェンス	縦線の赤/青がズれている   
	 Vコンバージェンス	横線の赤/青がズれている   
	 Hモアレ調整	 縦縞模様が現れる   
	 Vモアレ調整	 横縞模様が現れる   
	補足 モアレとは映像信号とブラウン管の蛍光体ピッチとの干渉によって生じる縞模様で、縞模様の周辺では文字が見にくくなる(部分的にフォーカスが悪く見える)場合があります。 モアレが気になるときは水平/垂直サイズ調整の設定の変更することで多少目立たなくなります。また、デスクトップパターンの種類によってモアレが特に目立つことがありますので、パターンを変えてみてください。それでも気になるときに、この調整を行ってください。ただし、補正量を多くしすぎると画面が揺れる場合があります。	
 ラスタ傾き調整	 色むらがでる   	
 消磁 補足 消磁は連続して行うことはできません。一度消磁をした後は、30分以上の間隔をおいて行ってください。消磁作動中は画面が大きく揺れ、ブーンと音がしますが、故障ではありません。	電源を入れると自動的に消磁されますが、その後通電状態で回転させたり、置き場所を移動させたりすると画面に色むらが生じることがあります。まず「ラスタ傾き調整」を行い、それでも色むらが解消されない場合にはこのメニューを選択し、消磁を行ってください。	
 リターン	メインメニューに戻ります	
ファンクション	 OSD H位置	OSDが左によっている    OSDが右によっている  
	 OSD V位置	OSDが下によっている    OSDが上によっている  
	 OSDオフタイマー設定	3 5 15 30 45 sec 3秒～45秒まで、オンスクリーン表示が消えるまでの時間を設定します

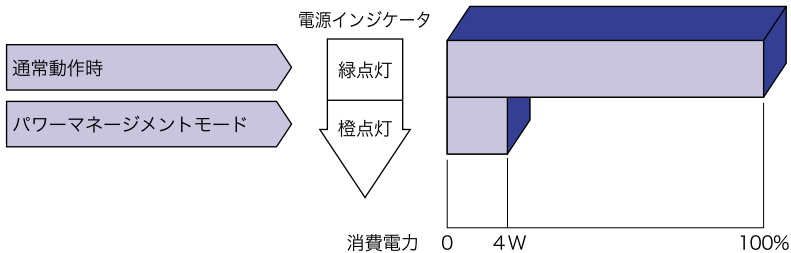
メインメニュー	サブメニュー	画面の症状/調整ボタン	
 ファンクション	 言語選択	English	英語表示
		Deutsch	ドイツ語表示
		Français	フランス語表示
		Nederlands	オランダ語表示
		Svenska	スウェーデン語表示
		Japanese	日本語表示
	 Lockout	オン	Lockout以外のすべての調整がロックされます
		オフ	ロックが解除されます
	 セーブリセット	Auto	オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が自動的に記憶されます
		補足 この間に電源を「OFF」しないでください。	
Manual		このメニューを選択すると、調整を行うたびに「Save the changes?」と表示されます。「Yes」を選択すると調整したデータが記憶されます。「No」を選択すると調整したデータはキャンセルされ、調整前の画面状態に戻ります。	
Reset		工場出荷設定に戻します	
補足 このリセット操作を行うと、工場プリセットモードに対してお客様が調整した全てのデータが消去され、工場出荷設定に戻ります。ただし、工場プリセットモード以外の信号タイミングの場合には、サイズ、位置、糸巻歪、台形歪のデータはリセットされません。			
 リターン		メインメニューに戻ります	
 Help	 Help	オン	サブメニューアイコンを選択するたびに、そのメニュー項目の内容説明が表示されます
		オフ	ヘルプが非表示になります
	 Information		製品の型名、製造番号、現在受像している信号の信号入力コネクタおよび水平・垂直周波数が表示されます
	 リターン		メインメニューに戻ります

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR[®]、VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード(消費電力 4W以下)となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが^{*}橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は約10秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足 パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

3. 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「2. 操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

① 映像が出ない

(インジケータ点灯せず)

- 電源コードが確実に接続されていますか？
- 電源スイッチが「ON」されていますか？
- 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。

(インジケータ緑色)



- ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
- 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？
- コンピュータの電源は入っていますか？
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

(インジケータ橙色)

- パワーマネジメント状態ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
- コンピュータの電源は入っていますか？
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- 入力信号切替ボタンで選択しているコネクタと、実際に信号ケーブルを接続しているコネクタは一致していますか？ 入力信号切替ボタンを1回押してみてください。

② 画面が乱れている



- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

症状

チェックポイント

- ③ 画面の位置が片寄っている



- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

- ④ 画面が明るすぎる
／暗すぎる



- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
コンピュータの映像出力レベルの違いにより、画面が明るくなる場合があります。この場合には、適度の明るさとなる様にコントラストを調整してください。

- ⑤ 画面が揺れる



- テレビやスピーカーなど磁気を発生させるものがモニタの周囲にありますか？また、近くに高圧線や電車が通っていませんか？
モニタの向きや設置場所を変えてみてください。
- 電源電圧は正常ですか？
タコ足配線はやめてください。
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- モアレ補正量が多すぎませんか？

4. クリーニング

警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

- ブラウン管表面には反射や静電気を抑えるための特殊コーティングを施してありますので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネットやブラウン管を痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

ブラウン管 表面に指紋等汚れがついた場合は、清浄な極細繊維布で拭いてください。

5. アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より1年間です。ただし、中古販売の製品については1年間の保証は適用されません。

修理サービス

- 「3. 故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイヤマサポートセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイヤマサポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイヤマサポートセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 7の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

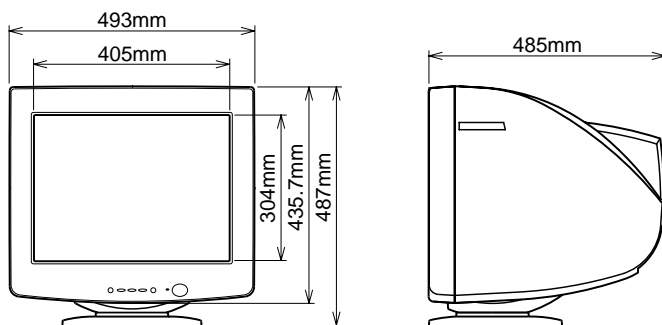
- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル/廃棄については、イヤマサポートセンターへお問い合わせください。

6. 付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

ブラウン管	21" (表示領域 20.0" /51cm) ドットピッチ 0.25mm (水平 0.21mm) フラットスクエア, 偏向角90°, 短残光, 低反射帯電防止コート
走査周波数	水平: 30.0~110.0kHz 垂直: 50~180Hz
映像帯域	280MHzドットクロック
推奨解像度	1280×1024 @85Hz
信号入力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ×2
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™対応
入力同期信号	セパレート同期: TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期: TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン: 0.3Vp-p, 負極性
入力映像信号	アナログ: 0.7Vp-p(標準), 75Ω, 正極性
画面情報メモリー数	プリセット: 9種, ユーザー設定: 最大10種
標準表示範囲	水平: 395mm 垂直: 295mm
入力電源 消費電力	AC100V 50/60Hz 120W(最大) パワーマネージメントモード時: 4W(最大)
外形寸法、重量	493(幅)×487(高)×485(奥行)mm, 24kg
角度調節範囲	左右各45° 上方向15° 下方向5°
環境条件	動作時: 温度 0~35°C 保管時: 温度 -20~60°C 湿度 10~80%(結露なきこと) 湿度 5~90%(結露なきこと)
適合規格	VCCIクラスB



プリセットモード

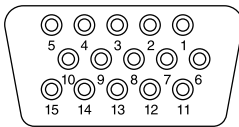
本製品は下表の信号タイミングに対応した画面情報がプリセットしてあります。

ビデオモード	解像度	水平周波数	垂直周波数	同期信号極性	
				水平	垂直
VESA	640×400	31.47kHz	70.0Hz	負	正
	640×480	31.47kHz	59.9Hz	負	負
	640×480	43.27kHz	85.0Hz	負	負
	800×600	53.67kHz	85.1Hz	正	正
	1024×768	68.68kHz	85.0Hz	正	正
	1280×1024	91.15kHz	85.0Hz	正	正
Macintosh	1024×768	60.15kHz	74.9Hz	負	負
	1152×870	68.60kHz	74.9Hz	負	負

補足 信号タイミングは、各社のグラフィックボードやコンピュータにより多少異なりますので、画面サイズ、位置などの微調整が必要です。

信号入力コネクタのピン配列

D-SUBミニ15ピンコネクタ



D-SUB

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ/シンク・オン・グリーン	10	接地
3	青ビデオ	11	接地
4		12	データライン(SDA)*
5		13	水平同期/コンポジット同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC 規格に準拠